

# 留 学 報 告 書

記入日：2013年9月23日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部 地域行政学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	アルバータ大学 University of Alberta
留学期間	2012年8月～2013年5月
留学した時の学年	4年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	なし 年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Faculty of Arts <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年5月4日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月～12月 2学期：1月～4月 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (カナダドル)	円	備考
授業料	\$0	円	明治大学に学費を支払ったため
宿舍費	\$5180	円	
食費	\$2424	円	
図書費	\$612	円	
学用品費	\$180	円	
教養娯楽費	\$465	円	
被服費	\$1147	円	衣服はほぼ現地調達
医療費	\$12	円	
保険費		127850円	形態：明大サポートで加入
渡航旅費		240000円	往復
雑費	\$0	円	
その他	\$420	円	生活費
その他	\$2592	円	旅行代
<b>合計</b>	<b>\$13032</b>	<b>367850円</b>	

## 渡航関連

**渡航経路：**成田—仁川(韓国)—バンクーバー—エドモントン

渡航費用

チケットの種類    OPEN チケット

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計                    往復 24 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

## 滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例：アパート、大学の宿舎など)

秋期：アパートでルームシェア

冬期：大学内寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋 (同居人数      )

3) 住居を探した方法：

renting spaces, kijiji (インターネットサイト)

4) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

当初は寮に入る予定が、突然入れないことになり、急ぎょ現地で家を探しました。

Winter term からは International house という学内寮に入りました。

ルームシェアも楽しかったですが、寮では多くの学生と交流ができ、大学からも近いため真冬でも通学が楽でした。寮に入る場合は International house をお勧めします。寮での交流が盛んでとても楽しかったです！

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

困ったことがあったらまず International Center に行っていました。職員さんが勉強や生活面など、なんでも個別に相談に乗ってくれます。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

留学生向けオリエンテーションや現地の友達などから主に情報を聞きました。

ダウンタウンの周辺は治安があまり良くないです。犯罪に巻き込まれることはありませんでしたが、友人は不審者を見たことがあるといていたので、基本ですが夜はあまり一人で出歩かないようにしていました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット (接続について) 現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮は、別料金でインターネット代を払いました。しかし速度が遅かったり、ときどきインターネットにつなげないこともありました。学内はWifi 完備。どこでもつながります。

街でもカフェなどではWifi が使えます。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを主に使っていました。2枚作るか、限度額を上げておけばよかったなと思います。現金の引き出しはCash passport を使いました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ちらしずしの素・おもち：これらだけは現地の日本食を売っているお店で見つけれませんでした。

IC レコーダー：授業によっては教授に許可をもらい録音していました。

## 進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
業界研究本、実際にその業界で働いている友人・知人から話を聞いていました。
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
物流 世界をフィールドにして働きたかったため。その中でも縁の下の力持ちの存在である物流の仕事に興味をもちました。ただし、物流の仕事は地道なものも多いため、その点を理解していないとなかなか選考が進まないと感じました。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学生の就活というとボストンキャリアフォーラムや東京キャリアフォーラムなどがあります。私も実際に両方に行きました。多くの大手企業の選考を受けれるチャンスです。しかし大量の留学生が参加するので競争率も激しい。行くなら事前に準備をし、当日選考を受けれるようにすることをお勧めします。カナダの大学は他国と比べて4月には帰国できるので、遅めの春選考に参加することができました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 16 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
SOC251 Population and Society		人口学
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts	
履修期間	Fall term	
単位数	3	
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Frank Trovato	
授業内容	人口学の基礎論	
試験・課題など	Final exam 35% Mid-term exam 1 25% Mid-term exam 2 25% Term assignment 15%	
感想を自由記入	自分の専門に関する授業であったため、理解しやすかった。 また高齢化の進んでいる国の例として等、日本の状況が授業で取り上げられることも多く、日本について客観的に見ることができた。 教授もとても親切で、質問や相談（テストへの辞書の持込み等）によく乗っていただいた。ただ授業の資料を WEB 上に載せてくれない主義だったのでノートをとるのが大変だった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
SOC260 Inequality&Social Stratification		
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts	
履修期間	Fall	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回	
担当教授	Michelle Lee Maroto	
授業内容	社会階層によって生じる機会へのアクセスや報酬の不平等について	
試験・課題など	Midterm Exam: 30% Final Exam: 35% Class Assignments and Quizzes: 30% Participation: 5%	
感想を自由記入	Oh-o meiji のようなインターネット上のページで受講生と教授を交えてディスカッションを行い、その参加率も評価の対象になるなど、ユニークな授業。移民の健康格差や教育格差について興味があったので、興味深い授業だった。テスト前に復習問題を配ってくれる。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
SOC269 Intr to Globalization Sociology			
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts		
履修期間	Fall term		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Gordon Laxer		
授業内容	グローバル化について、その経緯や今後について（今後のオイルの動向等）		
試験・課題など	Mid-term test 30% Essay Proposal 5% Term paper [2000 word maximum] 30% Final Exam 35%		
感想を自由記入	社会学というより政治学的な観点からの授業。専門用語や教授が内を言っているのかわからず、中間テストでひどい点を取ってしまったが、教授に直接交渉し、レポートを書くことで何とか Pass することができた。授業がわからず録音の許可をとって録音していた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
FREN 111 Beginners French I		フランス語	
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts		
履修期間	Winter		
単位数	3		
本学での単位認定状況	1単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50・80分がそれぞれ2回		
担当教授	Geraldine Barandiaran-Munoz		
授業内容	初級フランス語 文法だけでなく、会話の時間も多かった 他のフランス語履修者と合同でパーティなども開催された		
試験・課題など	Participation and attendance 10% Assignments(online and traditional) and quizzes[2-3 per week altogether] 20% Chapter tests 1 and 2 (5% each) 10% Chapter tests 3 and 4 (10% each) 20% Oral mid-session evaluation 10% Final oral exam 10% Final written exam 20%		
感想を自由記入	会話の時間が多くあったため、クラス内が仲良くなり楽しかった 教授と TA が常に授業にいるため、わからないことがすぐ聞ける環境であった		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
SOC351 Introduction to Social Methodology		社会調査法	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Faculty of Arts		
<b>履修期間</b>	Winter		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義、Lab(グループワークの時間)（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に80・110分が2回と1回		
<b>担当教授</b>	Laurel Strain		
<b>授業内容</b>	社会学の調査に必要なデータの集め方や調査の理論について		
<b>試験・課題など</b>	Test #1 25% Test #2 25% Lab Assignments (5 @ 3% each) 15% Research Team Project 25% -Research Questions and Plan (5%) -In - class presentation (10%) -Written report (10%)		
<b>感想を自由記入</b>	この授業を履修して一番良かったことは現地の学生とチームを組んで調査を行うことできたこと。グループ毎でテーマを決め、調査、分析を行い、クラス内で発表をした。この授業で得た知識は今後の卒論執筆にも大いに活かせるものであると感じた。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
SOC224 Sociology of Deviance			
<b>科目設置学部・研究科</b>	Faculty of Arts		
<b>履修期間</b>	Winter		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に80分が2回		
<b>担当教授</b>	B.R. Hogeveen		
<b>授業内容</b>	アルコール中毒者、薬物使用者などの社会から逸脱したものの社会学。映像や実際にそういった人々を対象にした機関で働く人をゲスト講師としてよぶなど、授業がおもしろかった。		
<b>試験・課題など</b>	中間テスト2つ、期末テスト1つ(それぞれ1/3ずつの評価)		
<b>感想を自由記入</b>	先生が若く、授業を通して若者の英語表現を学んだ。ここでも日本の例が扱われることがあり興味深かった。(治安が良い国の例として日本があげられ、交番について取り上げられた) テストはすべてマークシート		

**留学に関するタイムチャート**

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	留学先決定 奨学金の準備
4月～7月	6月 航空券準備
8月～9月	8月中旬 渡航 8月下旬現地大学でオリエンテーション 9月授業開始
10月～12月	秋学期 10月中旬 中間テスト・ボストンキャリアフォーラム 12月初旬 期末テスト
2013年 1月～3月	冬学期 寮に引っ越す 2月下旬～3月初旬 中間テスト
4月～7月	4月下旬テスト 5月頭に帰国 帰国後すぐに就職活動開始→7月内定